

平成28年度第2回契約監視委員会

【 議事要旨 】

平成29年1月

独立行政法人中小企業基盤整備機構

- I. 日 時 平成29年1月24日（火）14：00～17：00
- II. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 第一役員会議室
- III. 出席者 （委員）吉野委員長、内田（海）委員、内田（清）委員、
中島委員、千田委員
（機構）山城財務担当理事、工藤総務部長、
饒平名財務部長、三村監査統括室長 他

【議事概要】

1. 開会挨拶（山城理事）

2. 報告事項及び審議事項

(1) 報告事項

①前回の契約監視委員会の意見等に対する検討・対応状況

主な意見
特段の意見なし。

②平成28年度上期（4月～9月）公益法人に対する支出の点検について
・該当なし。

③平成28年度 中小企業基盤整備機構 調達等合理化計画の上期実績

(2) 審議事項

①平成28年度上期（4月～9月）契約の一者応札案件

今回の審議対象期間（平成28年度上期）の契約案件（105件）のうち一者応札・応募となった7件から各委員の評価により選出した4件の案件について、点検・審議した。

（※個別案件の審議概要は（別紙1）参照）

－以上－

○個別案件の審議概要

【 事業引継ぎ支援データベースオープン化に係る請負業務 】
主な意見
<ul style="list-style-type: none">・ 高度な構築が必要との認識で、一般競争入札ではなく、企画競争を採用したとのことだが、本当に高度か。実はそれほど高度でもなくて、この種の業務をできる者が多数いて、質の点において企画競争で見極めたいということか。・ 仕様を固めた上で、一般競争入札（総合評価）の中で提案を見ていくことも可能ではないか。・ 金額の上限を提示する必要はあるか。価格なしで提案を受けられないか。

【 「Japan Venture Awards 2017」に係る業務請負 】
主な意見
<ul style="list-style-type: none">・ 業務の前半部分（審査・選考）と後半部分（表彰式の運営）を分けるとあるが、当該業務を完全に2つに分離できるか疑問。分離する場合には、前半の業務と後半の業務のマネジメントが必要。・ 過去の入札はどのような状況であったか。過去の入札に参加していた事業者が今回入札辞退した理由は何か。・ 競争性を確保してコストダウンを図ることが本来の目的であり、入札で一者応札にならないことが目的とならないように注意する必要がある。

【 平成28年度中小企業再生支援協議会外部評価に係る
アンケート調査実施業務 】

主な意見

- ・過去に一般競争入札（最低価格）により適切な事業者を選定できなかったため、企画競争に切り替えたとのことだが、これは仕様自体を変更したとか、仕様が固まっていなかった状況ということか。
- ・仕様が変わっていないとなると、同じことを求める前提で一般競争（総合評価）に乗せることができるのではないか。
- ・アンケート調査実施業務という名称が誤解を生んでいるのではないか。

【 サウジアラビア王国における生産設備保全研修 】

主な意見

- ・特殊性というところが一者応札の原因分析と記載されているが、特定のプラントにおいて、そのプラントを保全するためにどうするという研修ではなく、TPM (Total Productive Maintenance) の考え方について、主に座学で講義するということが良いか。
- ・過去に二者応札になっていたから良いという話ではなく、以前の二者応札の時から問題があったものと思料。
- ・中央地域にはプラントエンジニアリングの会社が複数あり、多数の業務を行っている。そういった社も対応できるのではないか。